



D.I. 質問箱

Q60

結核の検査 クオンティフェロンについて教えてください。

A60

【測定原理】

1. 血液に特異抗原を加え培養します。結核感染者であれば血中に結核菌に感作された T リンパ球が存在するため、特異抗原の刺激を受けてインターフェロン γ を産生します。
2. インターフェロン γ を ELISA 法で測定します。

【長所】

- ①検査が血液でできる。
(専用採血管)
- ②BCG 接種の影響を受けない。
- ③ほとんどの非結核性抗酸菌(非定型抗酸菌)は陽性にならない。
- ④結核接触者健診に有用である。

【短所】

- ①感染してから8～10週間経過しないと陽性にならない。
- ②採血から検査まで時間の制約がある。
- ③既往感染か最近の感染か、区別できない。
- ④免疫抑制状態の人は、偽陰性、判定不能となる場合がある。
- ⑤5歳以下の乳幼児には判定基準が適用されないため、ツベルクリン反応検査を優先する。

お問合せ：学術データインフォメーション(D.I.)課まで

0120-14-8734 (フリーダイヤル) / 082-247-4325 (ダイヤルイン)



7歳の娘が柴犬を飼いたいと言い出した。そういえば、自分も小さいころ両親にねだったことがあるが、世話が大変と反対され仕方なく諦めた。その後、勉強？や遊ぶのに忙しくなり次第に興味も薄れ、今思えば一過性の飼育願望だったのだろう。その自分が父親になり、あの頃と同じ状況に遭遇している。

娘への返事はさておき、まずは犬の飼育法を知らないため本屋に行ってみた。すると犬種毎に分かれており柴犬は3冊、その中の1冊を立ち読みした。登録、ワクチン、去勢、しつけ、散歩、病気、M部長宅のラブ&ブレイブの記事…、犬の飼育とは大変そうである。娘には高校生になったらと言いついて聞かせているが、彼女の飼育願望も一過性であればと願っている。

先生方も似たような経験をお持ちでないでしょうか？

中村 賢作(広報委員)

広報委員

松本 道雄 / 藤本 誠 / 伊丸 直樹 / 中村 賢作 / 渡川 美弥子 / 初岡 博 / 熊川 良則 / 高磨 潤

